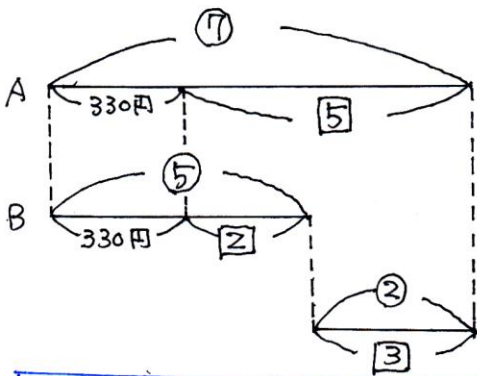


必修例題 3 倍数算

(1) AとBの所持金の比は7:5でしたが、2人とも330円使ったので、AとBの所持金の比は5:2になりました。Aの最初の所持金は何円でしたか。
 (2) はじめ、兄と弟の持っているカードの枚数の比は4:1でしたが、兄は3枚なくしてしまい、弟は友だちから8枚もらったので、兄と弟の持っているカードの枚数の比は5:3になりました。はじめ、兄が持っていたカードは何枚ですか。

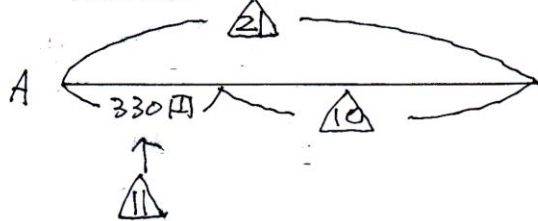
(1) 2人共同じ金額を使ったので、2人の金額の差は変わらない。

差が一定



$② = ③$
 $② \times 3, ③ \times 2$ で長さを最小公倍数の6にそろえます。

Aの線分図で



△は330円なので

△は $(330 \div 11) = 30$ 円

△は $30 \times 21 = 630$ (円) → Aの最初の所持金

(2) はじめに(それぞれ)が持っていた枚数を④枚

①枚として、そのまま比例式をつくり直す。

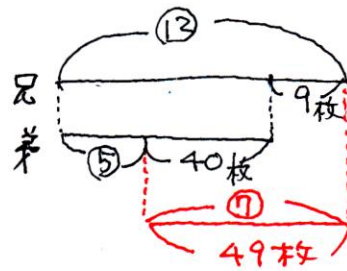
兄... ④ - 3 (枚) → 5
 弟... ① + 8 (枚) → 3

$(④ - 3) : (① + 8) = 5 : 3$

外×外 = 内×内

$(④ - 3) \times 3 = (① + 8) \times 5$

$⑫ - 9 = ⑤ + 40$



⑦が49枚なので、
 ①は $(49 \div 7) = 7$ 枚

兄は④なので、
 $7 \times 4 = 28$ (枚)

28枚

630円